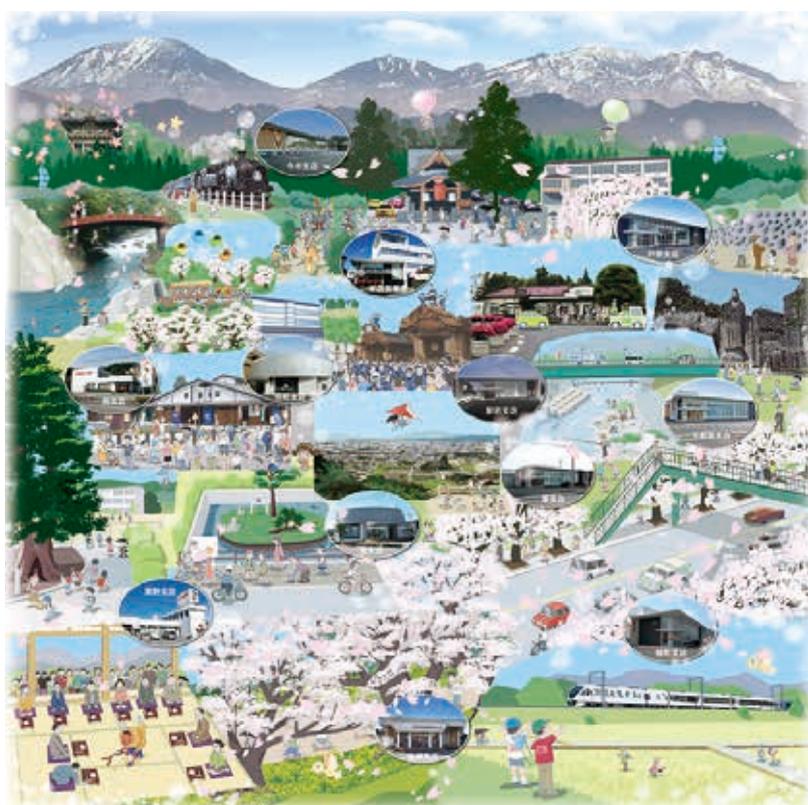


KANUMASHINKIN REPORT

鹿沼相互信用金庫の現況

2024.9 DISCLOSURE

(令和6年9月末)



● 私たちの住む街 ●
(イラストはイメージです)

かぬましんきんの概要

- | | | | |
|-------|------------------------|---------|---|
| ● 名称 | 鹿沼相互信用金庫 | ● 会員数 | 18,566人 |
| ● 所在地 | 〒322-0066 鹿沼市上田町2331番地 | ● 出資金 | 14億36百万円 |
| ● 創立 | 大正14年10月27日 | ● 職員数 | 146人 |
| ● 店舗数 | 12店舗 | ● U R L | https://www.shinkin.co.jp/kanuma/ |

(令和6年9月末現在)

令和6年9月期 業績のご報告

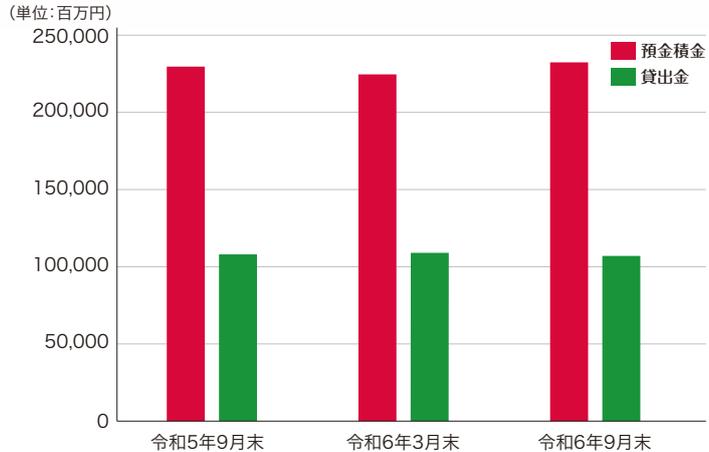
預金積金・貸出金の状況(残高)

預金積金残高は、前期末比3.49%増加の2,326億円となりました。

貸出金残高は、前期末比0.46%減少し、1,075億円となりました。

(単位:百万円)

	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
預金積金	229,815	224,813	232,668
貸出金	107,814	108,081	107,584



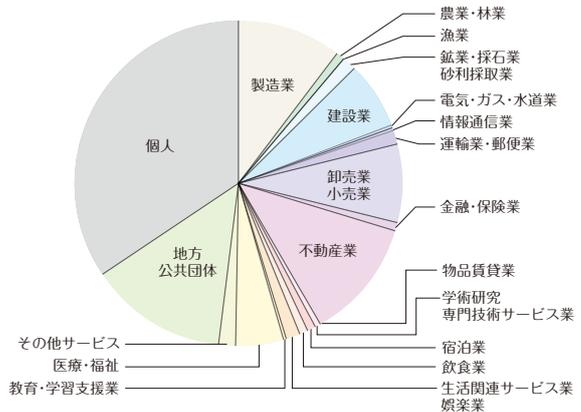
貸出金の内訳(業種別残高)

当金庫は、特定業種や大口取引に偏らないバランスの取れた、小口融資を貸出の基本としております。

また、お客さまの幅広いニーズにお応えし、地域社会や産業発展に貢献するよう努めております。

(単位:百万円)

	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
製造業	13,261	13,911	13,955
農業・林業	640	855	500
漁業	7	7	6
鉱業・採石業・砂利採取業	1,017	971	1,007
建設業	9,153	9,163	8,852
電気・ガス・水道業	287	294	264
情報通信業	371	249	358
運輸業・郵便業	1,810	1,694	1,566
卸売業・小売業	9,548	9,378	9,252
金融・保険業	998	815	1,106
不動産業	15,114	15,607	15,398
物品賃貸業	16	15	33
学術研究・専門技術サービス業	819	829	783
宿泊業	1,093	1,120	1,111
飲食業	1,117	1,207	1,241
生活関連サービス業・娯楽業	1,445	1,406	1,397
教育・学習支援業	303	263	316
医療・福祉	3,420	3,394	3,251
その他サービス	2,688	2,499	2,464
地方公共団体	12,181	12,390	12,858
個人	32,518	32,004	31,857
合計	107,814	108,081	107,584



金融再生法に基づく開示債権の推移と保全状況

当金庫では、資産の健全化を図るため、厳格な自己査定を行い、不良債権の償却・引当を行うとともに、不良債権の新規発生防止に取り組んでおります。令和6年9月末の金融再生法上の不良債権額は、前期末比85百万円増加し、2,501百万円となりました。

また、不良債権比率は、前期末比0.09ポイント増加し、2.31%となりました。

(単位:百万円)

項目	令和5年9月末	令和6年3月末	令和6年9月末
金融再生法上の不良債権(A)	2,558	2,416	2,501
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,647	1,489	1,464
危険債権	857	897	992
要管理債権	54	29	45
保全額(B)	2,393	2,282	2,376
担保・保証等	1,829	1,725	1,814
貸倒引当金	563	556	562
保全率(B/A)	93.52%	94.46%	95.01%
正常債権	105,779	106,090	105,487
与信合計(C)	108,338	108,506	107,989
不良債権比率(A/C)	2.36%	2.22%	2.31%

*金融再生法開示債権の対象債権は、貸出金、債務保証見返、外国為替、貸出金に準ずる未收利息、貸出金に準ずる仮払金、貸付有価証券、当金庫の保証を付した私募債です。

自己資本比率 (国内基準)

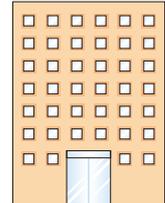
(単位:百万円)

自己資本比率は、金融機関の健全性や安全性を計る重要な指標の一つです。

国内業務を行う金融機関に必要とされる4%を大きく上回っております。

(注) 自己資本の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。

項目	令和5年9月期	令和6年3月期	令和6年9月期
コア資本に係る基礎項目の額	5,600	5,701	5,979
コア資本に係る調整項目の額	133	202	190
自己資本の額 (a)	5,466	5,499	5,788
リスク・アセット等の合計額 (b)	61,914	60,618	60,666
自己資本比率 (a/b)	8.82%	9.07%	9.54%

国内基準
4%鹿沼相互信用金庫
9.54%

有価証券の時価情報

有価証券の運用においては、安全性や健全性を考慮し、国債や地方債等を中心とした運用を行っております。

(単位:百万円)

1. 満期保有目的の債券

		令和6年3月末			令和6年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	600	602	2	800	801	1
	社債	300	302	2	500	502	2
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	900	904	4	1,300	1,303	3
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	584	544	△40	585	532	△52
	地方債	2,410	2,256	△154	3,285	3,099	△186
	社債	1,100	1,090	△9	1,500	1,480	△19
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	4,095	3,891	△204	5,370	5,111	△259
	合計	4,995	4,796	△199	6,670	6,414	△255

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 市場価格のない株式等及び出資金は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

2. その他有価証券

		令和6年3月末			令和6年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	43	34	9	20	17	2
	債券	462	461	1	300	300	0
	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	462	461	1	300	300	0
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	2,090	1,881	208	2,783	2,562	220
	小計	2,596	2,377	219	3,104	2,880	223
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-	30	33	△3
	債券	15,650	16,653	△1,003	15,338	16,502	△1,164
	国債	2,928	3,283	△355	2,862	3,284	△421
	地方債	11,533	12,147	△613	11,290	11,995	△704
	社債	1,188	1,223	△35	1,184	1,223	△38
	その他	6,573	7,135	△562	5,976	6,447	△470
	小計	22,223	23,789	△1,565	21,344	22,982	△1,638
	合計	24,820	26,166	△1,346	24,448	25,863	△1,414

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 市場価格のない株式等及び出資金は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

損益の状況

令和6年9月期は、資金運用収益の増加や経費の減少などにより、全ての項目において前年同月比で増加しました。

項目	令和5年度		令和6年9月期 (半期)
	令和5年9月期 (半期)	令和6年3月期 (通期)	
業務純益	134	253	277
コア業務純益	251	519	279
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	244	511	279
当期純利益	161	276	285

お客様の思い(課題)の実現(解決)への挑戦

当金庫は、「地元の繁栄なくして金庫の発展はない」との経営理念のもと、お客様や地域と一体となり、抱える思い(課題)に寄り添い、それを実現(解決)することを最大の目標に掲げ、地域のプラットフォームの確立に向けて地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでいます。令和6年度上半期(令和6年4月~9月)は、物価高・円安・賃上げ・人手不足などの影響を受けた事業者に寄り添い、資金繰りなどの金融支援のほか、事業フェーズに応じた支援に取り組みました。

1. 事業フェーズに応じた本業支援の取組み

- 各種公的支援制度を活用した中小事業者の経営課題解決支援
 - ・「令和5年度補正 事業再構築補助金」申請支援5件(採択4件)
 - ・「令和5年度補正 ものづくり・産業・サービス補助金」申請支援10件(採択8件)
- 中小事業者の販路拡大支援、販売促進支援
 - ・展示会・商談会等を活用した販路拡大支援 77社
 - ・WEBを活用した販売会への参加支援 1社
 - ・信金中央金庫による商談情報サイト「しんきんコネクト」への登録支援 8社
- その他
 - ・SDGs取組支援サービスによる宣言書作成などの支援 25社
 - ・原油・原材料高による運賃負担軽減の支援 1社
 - ・DX化推進のためのITツール導入支援 1社



足立区舎人千本桜まつり

2. 外部機関と連携した中小事業者支援

- 栃木県事業承継・引継ぎ支援センター、鹿沼商工会議所、日光商工会議所、粟野商工会、(株)サクシード等との連携による事業承継・M&A支援
- 信金中央金庫、(株)リクルート、パーソルホールディングス(株)との連携による人材支援
- 栃木県産業振興センターとの連携による栃木県プロフェッショナル人材戦力拠点を活用したプロ人材採用支援
- 栃木県中小企業診断士会、(株)サクシード、(株)TMC経営支援センター、リコージャパン(株)等との連携による助成金・補助金申請支援



M&Aセミナー

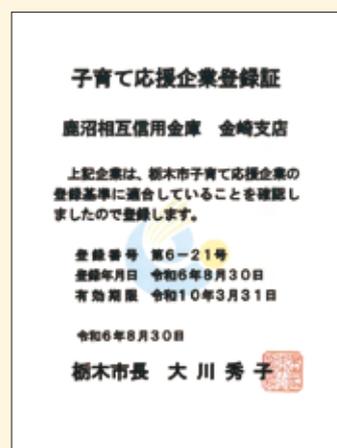
3. 地方創生への取組み

- 鹿沼市総合計画審議会および日光市が取組む観光地の高付加価値化事業への役職員派遣による参画
- 会津信用金庫との共催による「食と観光の個別商談会」(ライトキューブ宇都宮)の開催ならびに宇都宮大谷地区・日光への観光ツアーの実施
- 信用金庫連携による年金旅行団体客の観光誘致(山形信用金庫・川口信用金庫・千葉信用金庫)



食と観光の個別商談会

令和6年8月30日、金崎支店が営業地区とする栃木市から「子育て応援企業」に登録されました。



鹿沼地区

本部	☎(0289)65-4881	仲町支店	☎(0289)62-7272
本店営業部	☎(0289)64-6285	緑町支店	☎(0289)62-7215
粟野支店	☎(0289)85-2131	西支店	☎(0289)62-9771
駅前支店	☎(0289)62-5261	東支店	☎(0289)65-3180
南支店	☎(0289)64-1975	お客様サポートセンター	☎(0289)65-7428

日光地区

今市支店 ☎(0288)22-1150

宇都宮地区

宇都宮支店 ☎(028)648-2211
戸祭支店 ☎(028)625-1661

栃木地区

金崎支店 ☎(0282)92-2320